

# 「語りもんそ」

Vol.19 平成23年10月15日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

♪♪日曜の朝にカフェで音楽を♪♪

## カフェ ミニコンサート

出演 (財)鹿児島県文化振興財団  
アーティストバンク登録アーティスト

毎月1回日曜日の10時30分～11時15分まで宝山ホール2階の喫茶店“カフェ マ・ナ～ナ”にて開催されています。

●8月21日(日)は、フルート奏者のDuo AQUA(デュオ アクア)のお二人で、前半はバッハのクラシック、中盤は日本の名曲、後半はミュージカルや映画音楽など全18曲が3部構成で演奏されました。



フルート 濱崎 恵さん(左)・福森 路子さん(右)

●9月25日(日)は、手塚洋子さん(メゾソプラノ)と上野くららさん(ピアノ)

ワルツなどのピアノソロ曲から日本の名曲(荒城の月他)・ミュージカルまで12曲が演奏され、日曜日の午前のひとときを多くのお客様がクラシックの名曲を堪能されました。



手塚洋子さん(メゾソプラノ) 上野くららさん(ピアノ)

ミュージカル

## 「青空の休暇」

8月24日(水) 会場: 宝山ホール



いずみたく追悼没20年記念として、辻仁成原作をミュージカル化した、ファンタジックで切ない、愛と青春の物語は、戦争という影を背負った男たちが今なお懸命に前向きに生きようとする姿を描いた作品で、来場された多くのお客様に感動を与えました。

## ○お客様に感想をお聞きしました

岩元文佳さん 鹿児島市

「母と妹そして親友3人で来ました。命の大切さが改めてとてもよく分かりました。そして家族や友人との絆の大切さを学びました。」と感想を話して下さいました。



後列左から岩元ひとみさん・岩元文佳さん・古田桃子さん  
前列左から岩元美音さん・石堂美奈さん・神宮司愉月さん

## ○ロビー交流会

終演後、ホワイエ（ロビー）で出演者とお客様の交流会がありました。

出演者から、作曲家故“いずみたく”さんとの思い出話やミュージカルに対する思いなどの話があり、最後に“いずみたく”作曲の「帰らざる日のために」を全員で歌い大いに盛り上がった交流会になりました。



## ○初めての公演ボランティア

小荒田登志子さん 指宿市

「まず災害時等の非常口を全員で確認しました。今日はクローク・花束受付・スイーツと駐車券販売を担当しました。お客様の手荷物のお預かり、宝山ホールと風月堂の共同開発である特製スイーツの物販があるということ、セラ602の割引駐車券の販売もあるということなど、色々なお客様へのサービスがあるということを知りました。お客様が非

日常的な空間で、しばし自分を開放しひたすらミュージカルを楽しむ、そのお手伝いをしているのだと思うと、与えられた自分の仕事をきちんとこなし、お客様に喜んでもらいたいと思いました。」



小荒田登志子さん 村山まゆみさん  
(宝山ホール職員)

## 日本の古典

# 能・狂言 鹿児島公演

8月28日（日）会場：かごしま県民交流センター  
県民ホール（能舞台）



能楽は、2001年、ユネスコによる第1回「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」に登録され、今日では世界的にも認められた日本を代表する古典芸能です。

今回は、能 観世流 『高砂』

狂言 大蔵流 『千鳥』 の公演に県民ホールは多くの古典芸能ファンで満席になりました。

## ○お客様に感想をお聞きしました

勝田せつ子さん 鹿児島市

「本格的な能舞台で、能と狂言の公演を見ることができる機会にありがたいと思いました。能は楽器の音色、演者の衣装、立ち居振舞い、すべてが美し



く感動しました。あらすじを読み話の流れは大まかにわかりましたが、台詞の意味までわかるようになれば、もっと楽しめるのではないかとさらに興味がわきました。子どもには難しかったかもしれませんが、本物の雰囲気に触れる貴重な体験だったと思います。

「狂言は演者の表情や、声の様子、動きがとてもおもしろく、あっという間に時間が過ぎてしまいました。贅沢な時間を過ごさせていただきました、ありがとうございました。」小学4年生の裕子さんは「能は難しかったけど、狂言はとてもおもしろかった。」と感想を話してくださいました。



勝田陽子さん・小野さいこさん・勝田せつこさん・勝田裕子さん

## ○初めての公演ボランティア

角之上直子さん 鹿児島市谷山

「クロークの担当からドア担当に変更になりました。ボランティアスタッフとしての活動は初めてでしたが、親子連れのお客様や子ども達、色々な方々と接することができ、とても楽しい時間を過ごせました。今後もボランティアスタッフを続けていきたいと思えます」と、嬉しそうに話してくださいました。

財団4施設連携企画

# みてきて あそぼう！

鹿児島県文化振興財団体験フェア

9月3日(土)・4日(日)

場所 宝山ホール 前庭・アートギャラリー



財団4施設（宝山ホール・みやまコンセール・霧島アートの森・上野原縄文の森）連携企画。火おこし体験、ミニミニ・コンサート、発見楽しみ工房ミニ、アクセサリ作り、ペットボトルとうろう作りの体験コーナーや毎年大好評の無料のどんぐりうどんなどに多くのお客様がご来場されました。

## ○一部をご紹介します



「ステージ体験 あなたが主役」ではフラダンスやピアノ演奏、弾き語り、ミュージカルがありました



ミニミニ・コンサート

縄文火おこし体験



モバイル作り

無料のどんぐりうどんは大人気

## ○お客様に感想をお聞きしました

宇都ひとみさん 竜介くん 鹿児島市天保山

「滑石から花形のアクセサリ作りにチャレンジしましたが子どもより頑張っていました。子どもも祖父にプレゼントするんだと楽しそうに勾玉を作っていました。」

竹添和美さん 響くん 隼人町

「子どもが思ったより頑張り、最後まで集中してアクセサリを作っている姿を見て嬉しかった」と

感想を話して下さいました。



後列 宇都ひとみさん

前列左から 宇都竜介くん 竹添響くん 竹添和美さん

山王初美さん 愛香音(あかね)さん 喜入町

「おいしいどんぐりうどんを試食し、夢の葉しおり作り、ペットボトルとうろう作り、発見楽しみ工房ミニではモビール作りなど、娘も物を作る楽しみを体験できたことをとても嬉しく思います。びっくりしたのは、9月23日の《シアターミュージックコンサート》にご出演されるソプラノの福富貴子さんが、ペットボトルとうろう作りコーナーの担当をされていたことです。一緒に写真を撮ったことに感動しました。」愛香音さんは「モビール作りでは見たことがない道具グルーガンを使って、きれいな作品ができてよかった。」と感想を話して下さいました。



後列 福富貴子さん 山王初美さん

前列 山王愛香音さん

親子で楽しむ

## メルヘンコンサート

& おはなし会 in 山形屋

9月19日(月・祝) 会場：山形屋文化ホール  
(2号館6階)

財団アーティストバンク登録演奏家によるファミリーコンサートとメルヘン館スタッフによる紙芝居や指人形を使った楽しいおはなし会が行われました。ご家族づれが多く、ホール内は楽しい時間が流れていました。



## 〇お客様に感想をお聞きしました

阿部智子さん 恵さん 鹿児島市郡元

「一部がジブリアニメソング、二部がおはなし会、三部がテレビアニメソングと三部構成でメリハリがあってとてもよかった。子どもと一緒に歌えて紙芝居もわかりやすく楽しめました。」と感想を話して下さいました。



阿部智子さん 恵さん

《今回の取材担当》

取材記事 広報ボランティア 小荒田登志子

福永瑞香・堂免順子

撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行

宝山ホール広報ボランティア「語りもんそ」編集部

〒892-0816鹿児島市山下町5-3宝山ホール

TEL099-223-4221 FAX099-223-2503